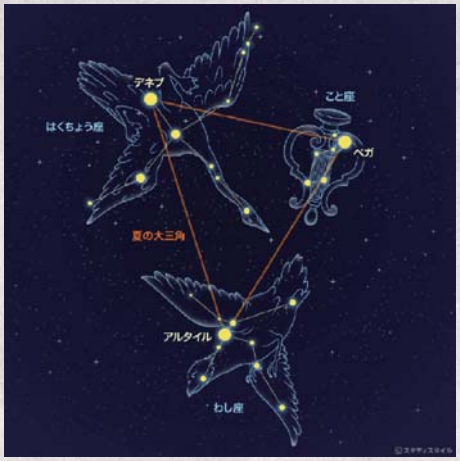
きもつき宇宙ニュース ～夏の星座～

今回は宇宙の「歴史」から一旦離れて、「星座」に関する紹介をします。夏の星といえば「夏の大三角形」と「天の川」が頭に浮かぶ方もいらっしゃるのではないでしょうか。

昔、学校の授業で聞いたけど改めて聞かれるとなんだっけ？と思った方はぜひご一読ください。

夏の大三角形は、「はくちょう座」「わし座」「こと座」の星座の中の3つの



←夏の大三角形
「こと座」と「わし座」の間には天の川が見えます

→「わし座」の配置
午後10時頃、東の空で見えます

1等星から構成されています。それぞれ「デネブ」「アルタイル」「ベガ」で、中でも「はくちょう座」は明るい星が多く、十字架状の形で分かりやすいので、まずは「はくちょう座」を探してみてください。

また、7月7日といえば七夕ですが、夏の大三角形とも関係があります。1年に1度だけ、七夕の夜に天の川をはさんで愛し合う二人が合うことができるという七夕伝説。その主人公がそれぞれ「わし座のアルタイル」は「ひこ星」、「こと座のベガ」は「おりひめ星」です。

夏の星座でもう一つご紹介したいのが、「さそり座」です。中でもさそりの体の中心部分にある「アンタレス」は直径が太陽の約700倍の大きさという巨大な星です。

また、ギリシャ神話では英雄オリオンを殺したという伝説があり、同じく星座のオリオン座は冬に見られることからさそりを恐れているオリオンが逃げていると言われています。

←「こと座」の星の配置
午後10時頃、真ん中の空で見えます

→「さそり座」の星の配置
午後10時頃、南の空で見えます

この記事をご覧になられた皆さんも、たまにはご家族で夜空を眺めて、星や星座を探してみてはいかがでしょうか。

【出典】
スタディスタイル★自然学習館
https //www.study-style.com/